としょしつだより

新年あけましておめでとうございます。

昨年はたくさんの方に広野町図書室をご利用いただきありがとうございました。

今年も図書を通して皆様の生涯学習をサポートしていきます。

読み聞かせや絵本の選書などもお手伝いいたします。

図書でお困りの際はお気軽に図書スタッフまでお声がけください。

利用カードの登録はいつでもどなたでもその場で「無料」で行うことができます。

0歳から利用登録が可能です。

月齢にあわせた絵本もご用意しておりますのでお気軽に図書スタッフまでお声がけくださいませ。

◇1月分の新着図書

※冊数未定(到着状況が遅れております。詳しくは図書スタッフまでお問い合わせください。)

1月の新着図書の展開は1月15日(水)を予定しております。

※到着状況により遅れがでる場合がございます。予めご了承ください。

図書室休室日のお知らせ

1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

■は休室日
開室時間：午前８時30分～午後５時15分

1月の企画展示

◆一　般

【2025年1月4日～1月31日】
ピックアップ作家：伊坂幸太郎
【2024年12月～2025年7月】
福島県立図書館移動図書あづま号の本の入れ替え

◆児童図書

【2025年1月4日～1月31日】
雪の本大集合!!絵本で寒い冬を乗り切ろう！

◇一般図書

わたしの美しい庭

著：凪良 ゆう

マンションの屋上庭園の奥にある「縁切り神社」。そこを訪れる"生きづらさ"を抱えた人たちと、「わたし」の物語。『流浪の月』の凪良ゆうが贈る、救いに満ちた感動作！小学生の百音と統理はふたり暮らし。朝になると同じマンションに住む路有が遊びにきて、三人でご飯を食べる。百音と統理は皿がつながっていない。その生活を"変わっている"という人もいるけれど、日々楽しく過ごしている。三人が住むマンションの屋上。そこには小さな神社があり、統理が管理をしている。地元の人からは『屋上神社』とか『縁切りさん』と気安く呼ばれていて、断ち物の神さまが祀られている。悪癖、気鬱となる悪いご縁、すべてを断ち切ってくれるという〝いろんなもの〟が心に絡んでしまった人がやってくるが――。

◇児童図書

バナナ

監修：藤 靖明
絵と造形：山福 朱実

広野町といったら「バナナ」!!広野町児童図書室ではバナナの本の収集にも力を入れています。

この本には世界中のバナナについて書かれています！バナナの成長や食べ方など大人が読んでも勉強になる内容です。この絵本を読んで勉強してから広野町のバナナを見に行くと新しい発見があるかもしれませんね。

本の購入リクエスト・リサイクルについて

図書室では、利用者から本の購入リクエストを受け付けております。

寄贈本に関しては、広野町ゆかりの図書を収集します。一般図書は可能な限り新刊本を収集します。

詳しくはスタッフまでお尋ねください。

11月の貸出ランキング

1位　行った気になる世界遺産／鈴木　亮平
2位　クスノキの女神／東野　圭吾
3位　あきぞらさんぽ／えがしら　みちこ
4位　偉大なる、しゅららぼん／万城目　学
5位　どんぐりころちゃん／正高　もとこ

問 広野町図書室　☎0240-27-3211　e-mail：hirono-library@abelia.ocn.ne.jp

ALTクリスティの 英語であれこれ 第17回

Christy

New Year, New Luck

Did you know that there are many superstitions and beliefs in the Philippines during New Year? Filipinos tend to follow some of these to ensure good fortune, prosperity, and health in the coming year. Here are some of the most common New Year superstitions observed in the Philippines:

1. Jumping at midnight - It is believed that if you jump as high as you can at midnight, you will grow taller in the coming year. This superstition is often followed by children, but many adults also participate, hoping for good luck and prosperity.
2. Wearing polka dots - Many Filipinos believe that wearing clothes with round shapes (like polka dots) on New Year's Eve will bring prosperity and wealth for the coming year. The idea is that the round shapes represent coins, which are a symbol of financial prosperity.
3. Making noise - A popular superstition is making loud noises at midnight to drive away bad spirits and misfortune. This is usually done by setting off firecrackers, banging pots and pans, using horns, or playing loud music. The belief is that the noise will scare away evil spirits and bad luck, allowing for a fresh start in the new year.
4. Eating Noodles - Eating noodles, especially long noodles like pancit, is a tradition on New Year's Eve. The long noodles symbolize long life, so eating them is believed to bring longevity and good health in the coming year.
5. First Meal of the Year (Media Noche) - The "media noche" feast, held at midnight, is an essential part of Filipino New Year's celebrations. It's important that the food is abundant and varied to signify a year full of blessings. Specific dishes like lechon (roast pig), rice cakes, and sweets are often served for good fortune.

These are some of the superstitions and beliefs, but there's a lot to mention like, buying 12 round fruits, opening doors and windows, cleaning the house and cash in pockets or bags, avoiding sweeping, first visitor and crying, no borrowing or lending money, and more. These superstitions reflect the Filipino desire for a year filled with abundance, good health, happiness, and prosperity. While many observe these practices out of tradition and belief, they are also a way for families to come together, celebrate, and share hopes for the future. There are no studies to prove these beliefs, but there's nothing wrong with following or believing in them. How about in Japan? I'd love to learn more! 😊

新しい一年・新しい幸運

フィリピンの新年には多くの迷信や信じられていることがあることをご存知ですか?フィリピン人は、来年の幸運、繁栄、健康を願い、これらの迷信を実践する傾向があります。フィリピンでよく見られる新年の迷信などをいくつかご紹介します:

1. 真夜中にジャンプする―真夜中に思い切りジャンプすると、その年は背が伸びると信じられています。この迷信によく従うのは主に子供たちですが、幸運と繁栄を願って多くの大人も参加します。
2. 水玉模様の服を着る―フィリピン人の多くは、大晦日に水玉模様のような丸い模様の服を着ると、新年に繁栄と富がもたらされると信じています。丸い形は硬貨を表し、金銭面の繁栄の象徴とされています。
3. 音を立てる―真夜中に大きな音を立てることで、悪霊や災いを追い払うという広く知られている迷信があります。大抵は爆竹を鳴らしたり、鍋やフライパンを叩いたり、角笛を鳴らしたり、大音量の音楽を演奏したりします。騒音により悪霊と不運を追い払って、新年に新たなスタートを切ることができると考えられています。
4. 麺類を食べる―大晦日に麺類、特にパンシットのような長い麺を食べることが伝統です。長い麺は長寿を象徴するので、これを食べることで長寿と健康がもたらされると信じられています。
5. 新年最初の食事(メディア・ノチェ)―「メディア・ノチェ」のごちそうのもてなしは、深夜に行われ、フィリピンの新年のお祝いに欠かせないものです。祝福に満ちた1年となるように、料理が豊富で多様なのが重要となります。レチョン(焼き豚)、お餅、お菓子などの特別な料理が幸運を願って出されます。

これらは迷信や信じられていることの一部に過ぎません。12個の丸い果物を買ったり、ドアや窓を開けたり、大掃除をしたり、ポケットやバッグのお金を片づけたり、掃き掃除や最初の来客を避けたり、泣かないことだったり、お金の貸し借りをしなかったりなど、まだまだ多くのことがあります。

これらの迷信は、豊かさ、健康、幸福、繁栄に満ちた一年への願いを反映しています。多くの人が伝統や信じられていることに由来するこれらの慣習を守っていますが、これは家族が集まって、祝い、未来への希望を分かち合う方法でもあります。このような信じられていることを証明するような研究はありませんが、それに従うことや信じることは何も悪いことではありません。

日本ではどうでしょうか？もっと知りたいです！ 😊